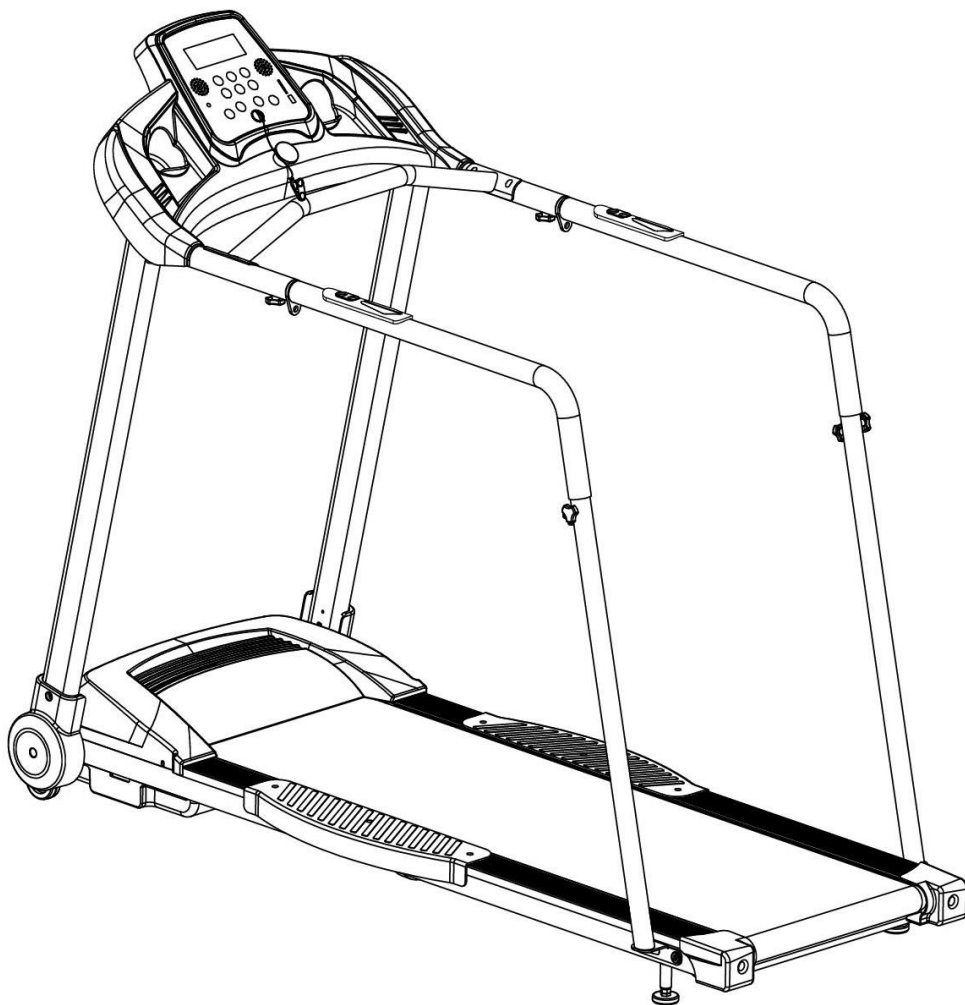


トレッドミル FT-006M

MARCHER



取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

また、本書は大切に保管してください。

(家庭用)

もくじ

「安全にお使いいただくために」はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

はじめに

安全にお使いいただくために	1~7
各部の名称について	8
パーツリスト	9
トレッドミルの組立方法	10~13
移動方法について	13
脈拍測定・手元操作スイッチ機能について	14

ご使用方法について

操作部の名称	15
表示部の名称	16
トレーニングについて	17

調整方法とお手入れ方法

走行ベルトの張り調整	18
走行ベルトの偏り調整	19
各部のお手入れ方法	20

トラブルシューティング

エラーメッセージについて	21~22
--------------	-------



その他

製品仕様、本体サイズ	23
保証書	




安全にお使いいただくために

このたびは トレッドミルFT-006Mをお買い求めいただきありがとうございました。

- ご使用前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

健康を害することのないようための注意事項

警告

- 本機は、健康維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、及び「家庭内リハビリ用」に使用する場合、また身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師にご相談してから使用してください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病（狭心症・心筋梗塞など）、高血圧症（降圧剤を服用中の方など）、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく・慢性気管支炎など）、変形性関節リウマチ、痛風など

注意

- ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。
- 本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。

お子様の事故や怪我を防ぐための注意事項

警告

- お子様は遊具として使用しないよう保護者の責任で注意してください。

注意

- マシンを使用している時にお子様をマシンに近づけないでください。

設置上の注意事項

警告

- 防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。
- トレッドミルの改造は絶対にお止めください。
- マシン設置時には、静電気故障及び感電防止の為、アースを正しく確実に接地してください。尚、ガス管をアースに使用するのは、火災、爆発の恐れがありますのでお止めください。

注意

- 本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用はしないでください。また、水のかからない場所に設置・保管し、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。さびの発生や電気部品の不具合等発生するおそれがありますので、注意してください。
- 湿度が多い、風通しが悪い、走行ベルト面が直射日光の当たる場所は避け、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- 使用者がトレーニング中に他の器具等に触れないような場所に設置し、本体の後方面は走行速度についていけない場合など待避所として1m以上空けて設置してください。
- 使用中の運動動作領域を十分確保できる水平な床面上に設置してください。
- 本体の設置部のガタつきや、ハンドルとの接合部に異常がないか、固定ノブ等の緩みがないかを確認してください。
- 電氣的な各接続部は、確実に接続されており、濡れたり、燃えやすい物が近くにあることを確認してください。
- 電源の電圧(100V/10A)、および消費電力が正しく供給できる場所に設置してください。
- 蛸足配線や延長コードを使用しないでください。
- コード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。

保管上の注意事項



(保管方法及び保管上の注意)

- 使用しない場合は、別の用途には使用しないよう、特に子供が使用しないようコンセントを抜いておくなど、注意してください。
- 屋外や湿気の高いところへの保管は、さびの発生、電気部品等の不具合の原因となるため、避けてください。特に走行ベルトの劣化の原因となるため、直射日光や高温の場所に保管しないでください。
- マシンの安全を維持するために日常点検や定期点検を実施してください。
- メンテナンス等で、モーターカバーを外す場合は販売店にご相談ください。内部に高電圧部分があり感電する恐れがあります。

使用上の注意事項

警告

- トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウェアを着用してください。回転、駆動部に巻き込まれるおそれがあるため、ひも類のない服装としてください。
- 操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。
- 電源投入時や再起動する時は走行ベルトの上に乗らないでください。走行ベルトが急に動き出す場合があります。
- マシンの速度を急激に変更しないでください。マシンから落下する恐れがあります。
- 身体に変調があったら、すぐに使用を停止してください。
- 使用中に「ストップ」ボタンを押すと、リセット状態になり、積算データも0に戻りますのでご注意ください。
初速度 (0.3km/h) に戻りたい場合は「ストップ」ボタンをもう一度押しリセットするか、安全キーを一度取り外してください。

注意

- 本機は**家庭用**です。「学校、スポーツジム等」不特定多数の使用者によつての使用はお止めください。使用の目安は1回の使用時間を60分以内とし、連続使用はお止めください。1日の合計使用時間は60分以内です。
- このマシンの使用体重制限は100kg以下です。
- 用途(所定の使用方法)以外の使用を行わないで下さい。
- 同時に2人以上での使用、後ろ向きでの走行、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りには絶対にしないでください。
- ご使用前に必ずトレッドミルの状況をチェックしてください。
- マシン、および他の器具等に使用者が触れることがないように注意してください。
- 乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品や使用者を押ししたり引いたりすると、安定性を損なうおそれがあるため、注意してください。
- 走行ベルトが一方に偏ってきたり、外れそうになったりした時は、直ちに調節部等でベルト調整(P. 19)するかご購入元の販売店に連絡し対処方法を確認してください。
- 走行ベルトは、局部的に亀裂等が発生するとそれが進展して使用中に破損等し、危険である為、適時確認して使用してください。
- 走行ベルトは定期的に交換が必要です。使用条件、環境にもよりますが、累計使用時間約2年を目安に交換してください。走行ベルトの交換を怠りますと、電子基盤やモーターなどの故障につながります。
- 電源コードを抜き差しする時は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。電源スイッチを入れたままだと内部の電子基盤などに悪影響を及ぼすこともあります。
- 使用後は、不正なトレッドミルの操作を防止するために、安全キーを取り外してください。
- マシン、および付属品等は次回の使用に支障のないように清浄にしておいてください。

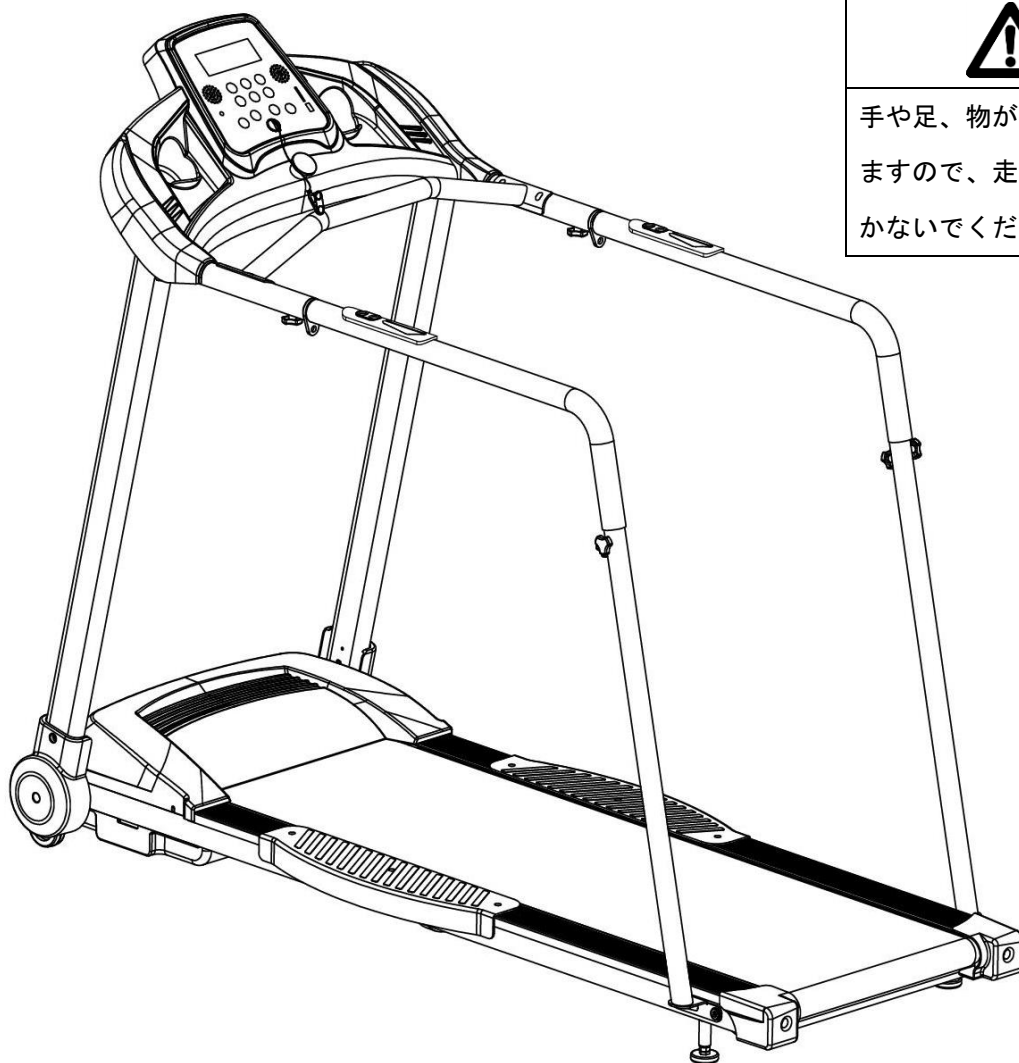
警告

このマシンをリハビリテーションの目的に使用する場合、危険防止のため、必ず監督者の下で使用してください。

このマシンの走行動作中は事故防止のため、監督者以外をこのマシンに近づけないでください。

注意

ストップボタンの高速時での使用は十分に注意してお使いください。



警告

手や足、物が巻き込まれる危険がありますので、走行ベルトに作動中は近づかないでください。

◎設置場所について

- (1) トレッドミルの設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を選び、トレッドミルの周囲、特にその後部には使用者の転倒に備えて厚手のマット等を敷き、事故防止に配慮してください。
※柔らかいマットや高価なカーペットの上に設置しないでください。カーペット、トレッドミルの両方が破損する恐れがあります。
なお、このマシンは液体の進入や可燃性ガスに対する防爆を考慮しておりませんので水のかからない、また可燃性物質のない場所で使用してください。
また環境条件として、室温、および湿度は四季を通じて、できる限り一定に保つようにしてください。
プールの近くや高湿度環境下、屋外での使用に設計されておられません。
- (2) トレッドミルは重量がありますので、荷重に耐えうる水平な床面に設置してください。設置条件が悪い場合には共振による騒音、および振動等が発生したり、走行ベルトに偏りが生じたりしますので、注意してください。

◎供給電源について

トレッドミルは稼動時に大電流を消費するため、容量を考慮して専用の AC100V 電源ラインのコンセントを用意してください。

また、電源コードは延長ケーブル、テーブルタップ等の中継コードを介さず、必ず専用壁面のコンセントに付属の電源コードを用いて差し込んでください。

(1つのシステムのコンセントには1台のトレッドミルのみの接続となる事が望ましいです。)

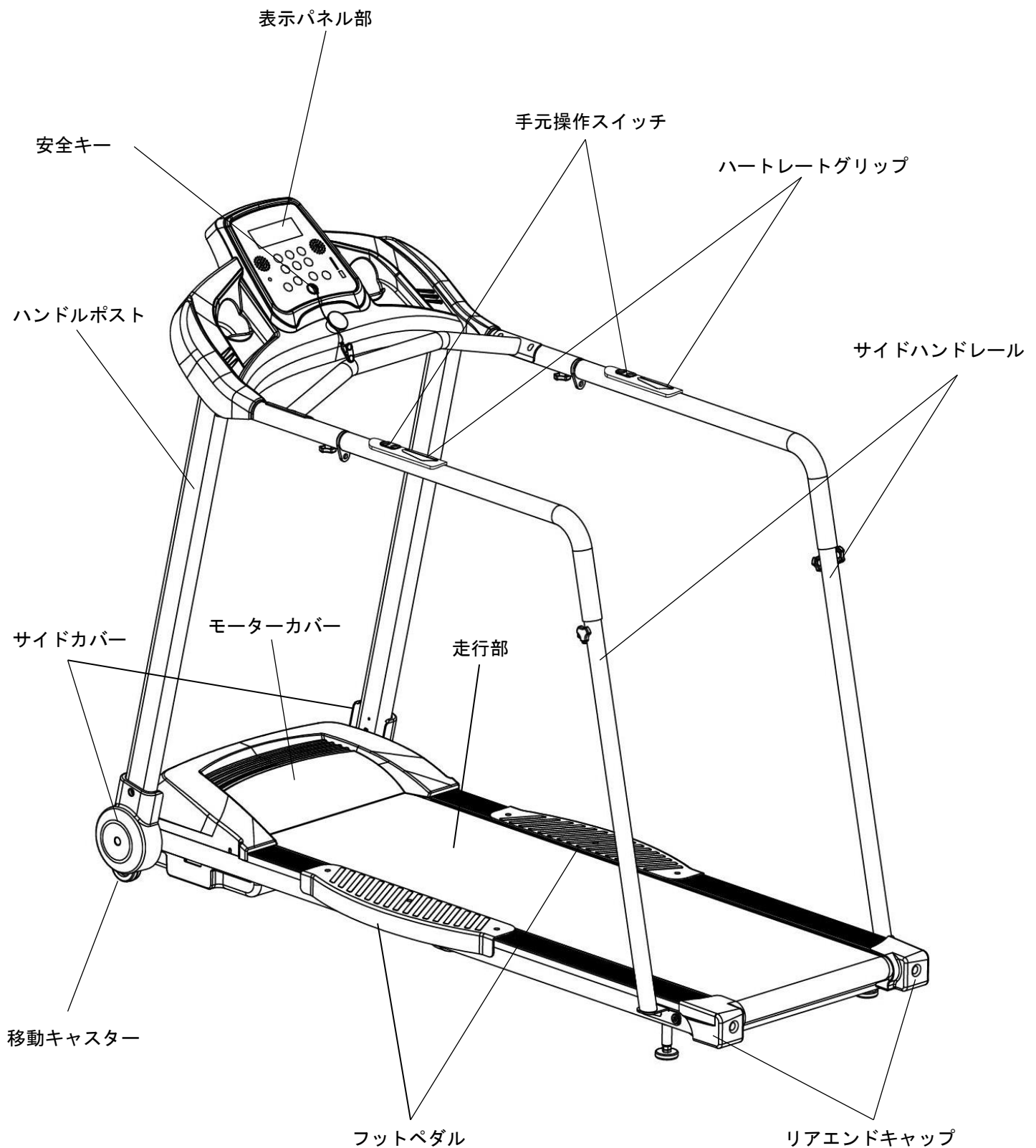
発電機やUPS電源でトレッドミルを使用しないでください。

※電源コードは本体の下をくぐらせないように配線してください。やむを得ず、本体の下をくぐらせる場合は、移動用キャスター等に挟まないようにお願いします。

注意

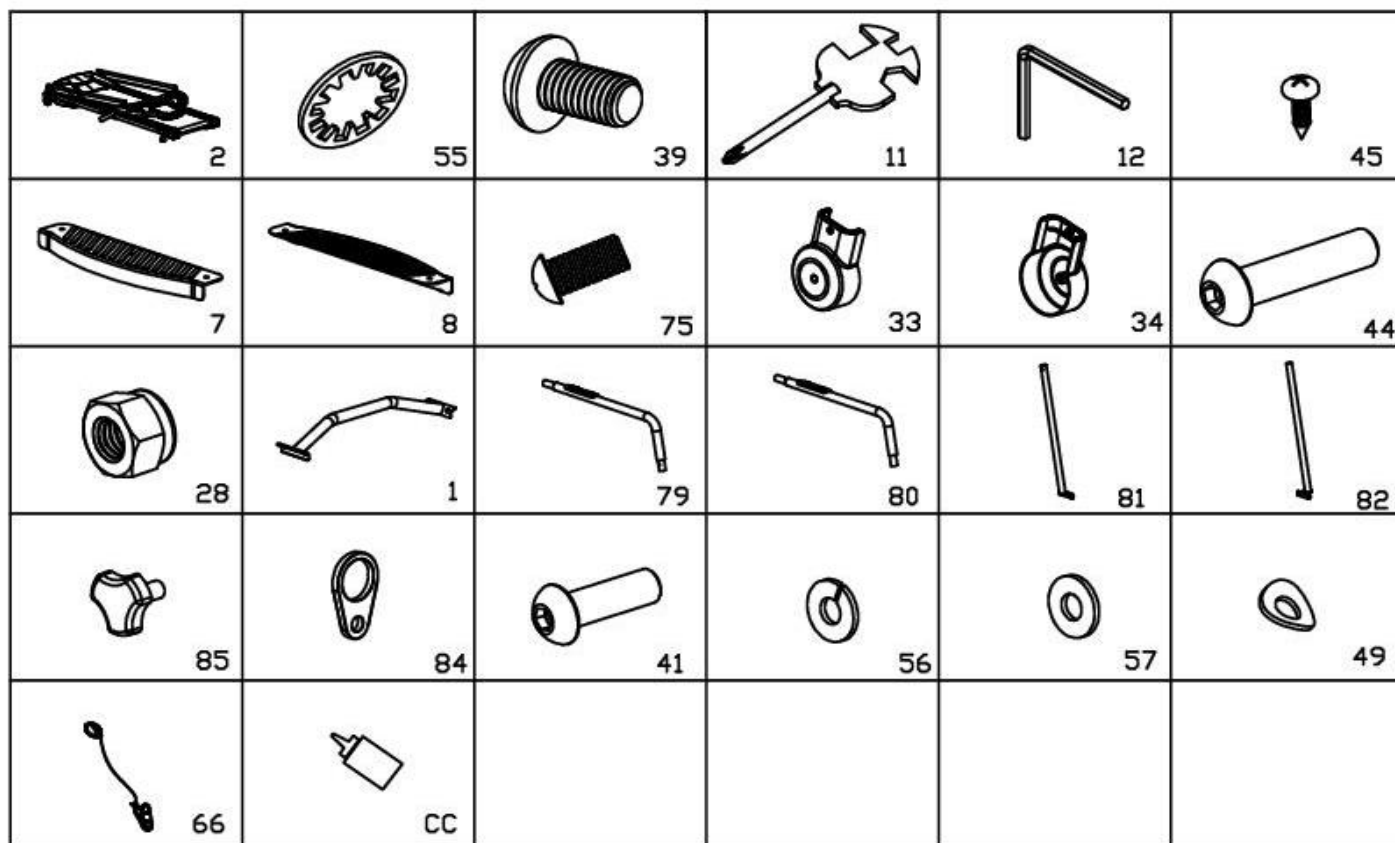
アースは必ず接地してください。アースを接地しないと外部ノイズ等の発生により表示バグやマシンに異常な現象を起こす場合があります。アースを接地しない場合の故障は保証の対象外となる場合があります。

各部の名称について



パーツリスト

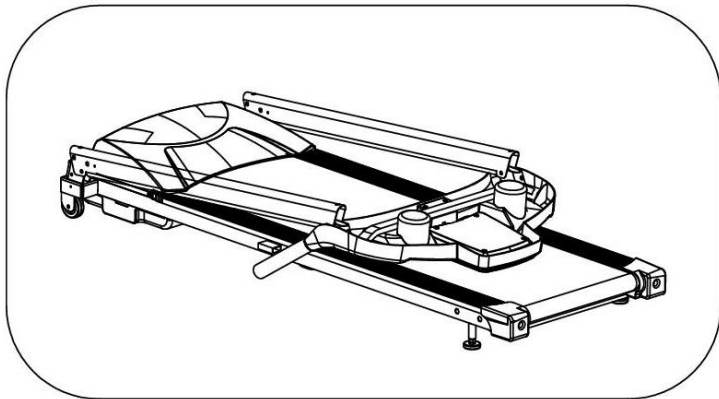
(2)メインフレーム	1 台	(55)ロックワッシャー	8 個
(39)ボルト M8*15	8 個	(11)レンチ付+ドライバー	1 個
(12)アーレンキー5mm	1 本	(45)スクリーネジ	6 本
(7)フットペダル左	1 個	(8)フットペダル右	1 個
(75)ボルト M5*12	4 個	(33)サイドカバー左	1 個
(34)サイドカバー右	1 個	(44)ボルト M8*50	4 本
(28)ナット M8	4 個	(1)センターハンドル	1 個
(79)ハンドルバー左	1 個	(80)ハンドルバー右	1 個
(81)サポートフレーム左	1 個	(82)サポートフレーム右	1 個
(85)三角ノブ 6*10	6 個	(84)フック	2 個
(41)ボルト M8*25	4 個	(56)スプリングワッシャー	4 個
(57)ワッシャー	4 個	(49)カーブワッシャー	8 個
(66)安全キー	1 個	(CC) シリコンオイル	1 個



(6 6) : 安全キーは安全装置です。キーが外れるとマシンは停止します。

(安全キーが設置されていないと、表示はバー表示になりマシンは作動しません)

トレッドミルの組立方法

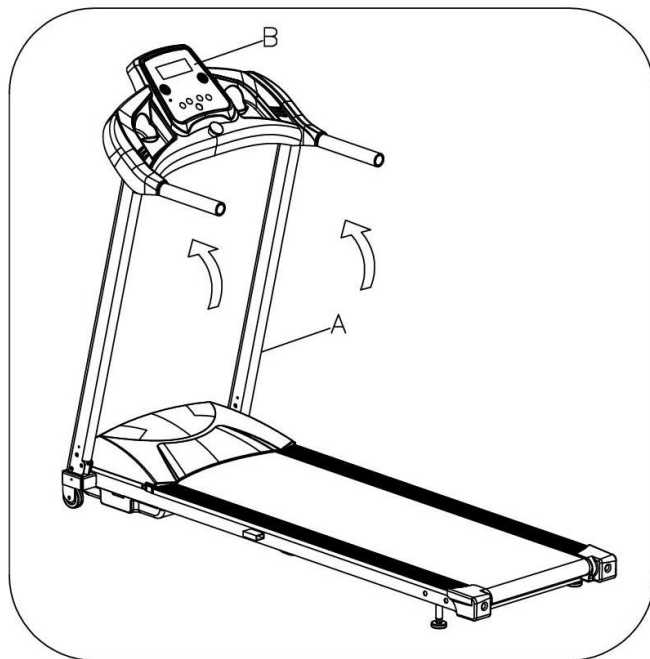


※組立作業は2人以上で行って下さい。

STEP 1

梱包箱より取り出します。

梱包箱を開き、付属品を取り出してから本体部を水平な地面に設置します。

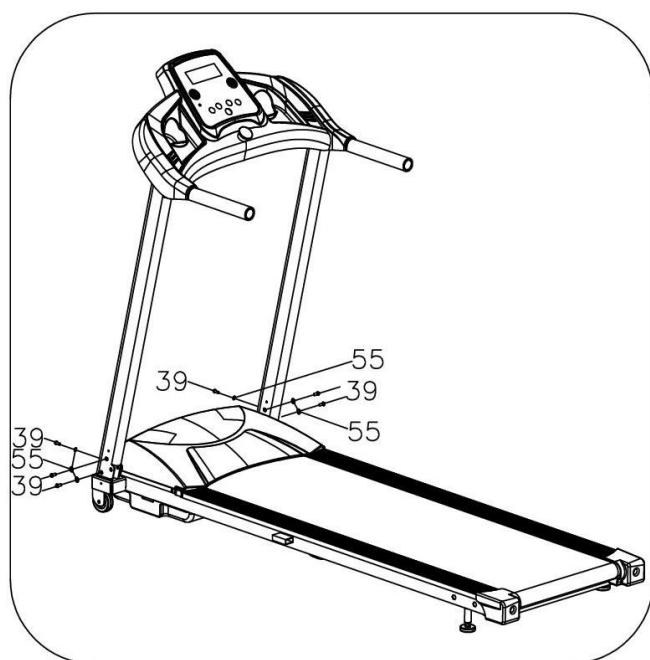


STEP 2

表示パネル部を立ち上げます。

両サイドの(A)ハンドルポスト(支柱)を持ち上げ、(B)表示パネル部も起こし上げます。

※この時、配線が挟まらないようご注意ください。

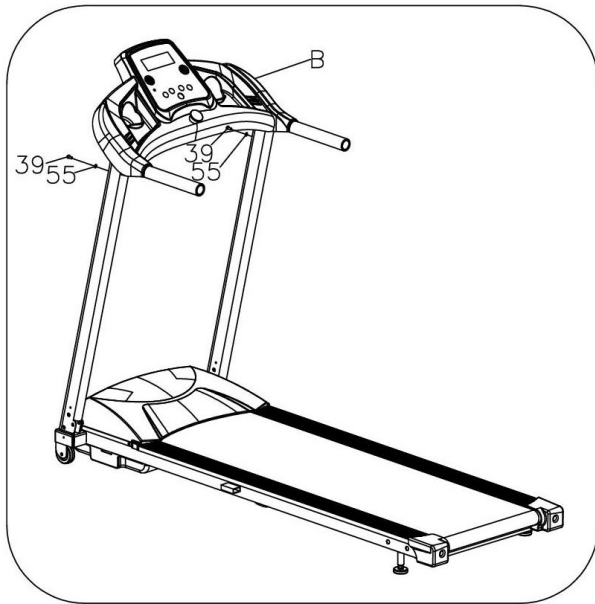


STEP 3

(A)ハンドルポストを固定します。

(12)アーレンキーを使用し(39)ボルト、(55)ワッシャーを左右6箇所に入れて込みます。6箇所全て入ったことを確認してから、本締めし確実に固定してください。

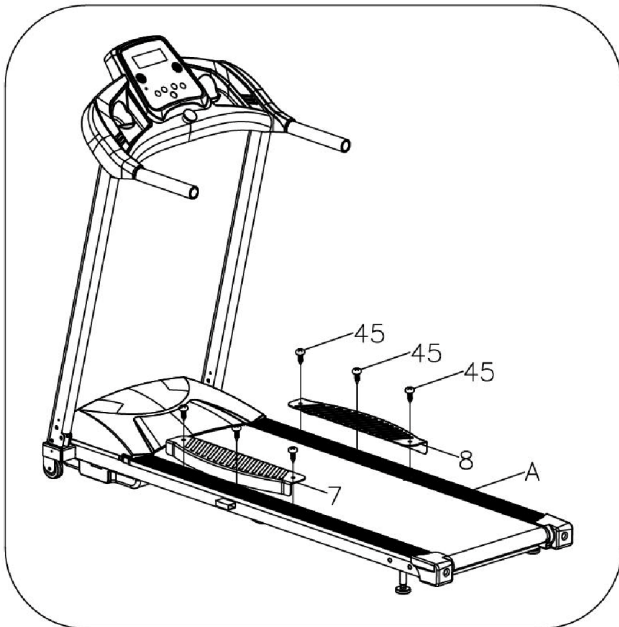
トレッドミルの組立方法



STEP 4

(B) 表示パネル部を固定します。

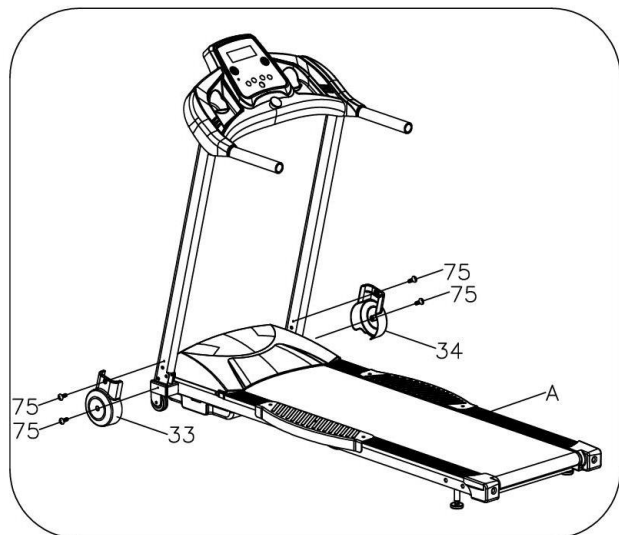
(12) アーレンキーを使用し(39) ボルト、(55) ワッシャーを2箇所軽く入れ込みます。2箇所全てに入ったことを確認してから本締めし確実に固定してください。



STEP 5

(7), (8) フットペダルを取付けます。

(7), (8) フットペダルを(A)メインフレームのサイドステップ位置に合わせ、(45) スクリューネジで片側3箇所ずつ締め込みます。



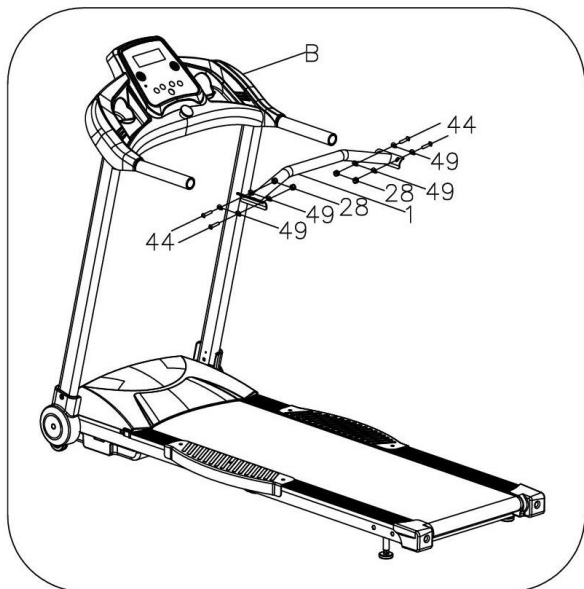
STEP 6

(33), (34) サイドカバーを取付けます。

(33), (34) サイドカバーを(A)メインフレームに合わせ、(75) ボルトを片側2箇所ずつ軽く入れ込みます。

2箇所全てに入ったことを確認してから本締めし確実に固定してください。

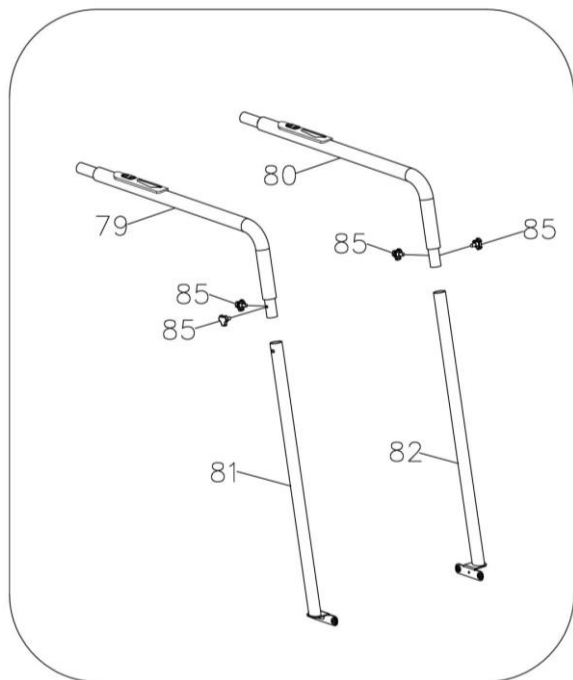
トレッドミルの組立方法



STEP 7

(1)センターハンドルを取付けます。

表示部ハンドルバーに(1)センターハンドルを合せて(44)ボルト、(49)カーブワッシャーを外側から差し込み、内側から(28)ナットで左右4箇所軽く締め込みます。4箇所全て入ったことを確認してから本締めし確実に固定してください。

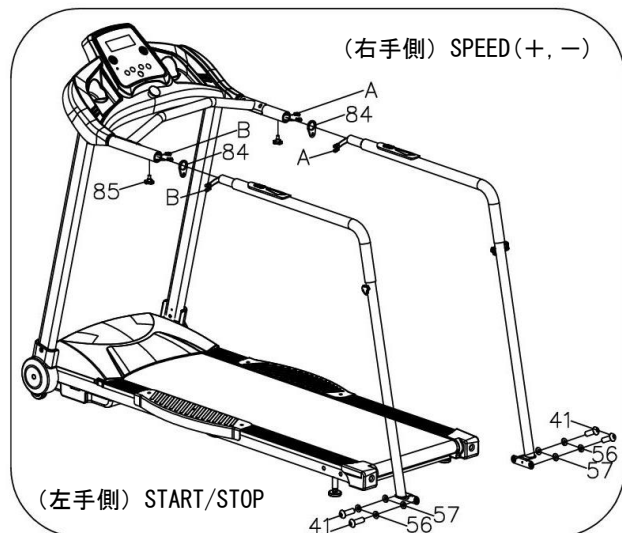


STEP 8

サイドハンドルバーを連結します。

(79)ハンドルバー左 (START/STOP ボタン付) と(81)サポートフレーム左を(85)三角ノブ2個で連結します。ハンドルバー右 (SPEED+ ボタン付) と(82)サポートフレーム右を(85)三角ノブで連結します。

※この時、取り付け向きを注意して取り付けてください。



STEP 9

サイドハンドレールを本体と連結します。

左図、本体B側(左手側)に(84)フックとサイドハンドレール (START/STOP 付) を合わせ、各々配線コネクタを接続してから本体側に差し込み(85)三角ノブで固定します。反対側も同様に連結します。

トレッドミルの組立・移動方法



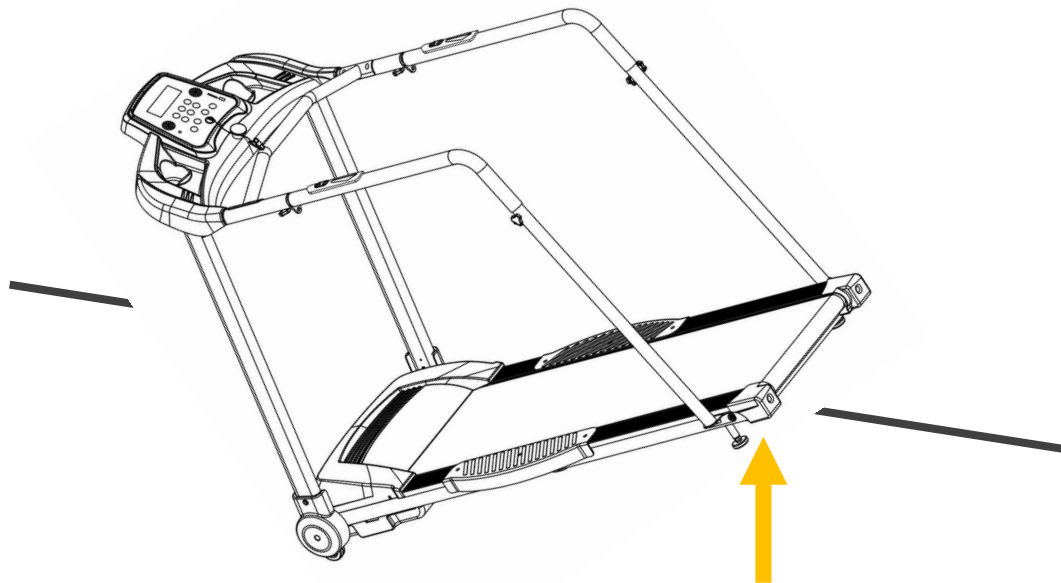
STEP 10

(66) 安全キーを取付けます。

表示部安全キー接地箇所(66)安全キーを取り付けていただき、組立は完成となります。

◎トレッドミルの移動方法

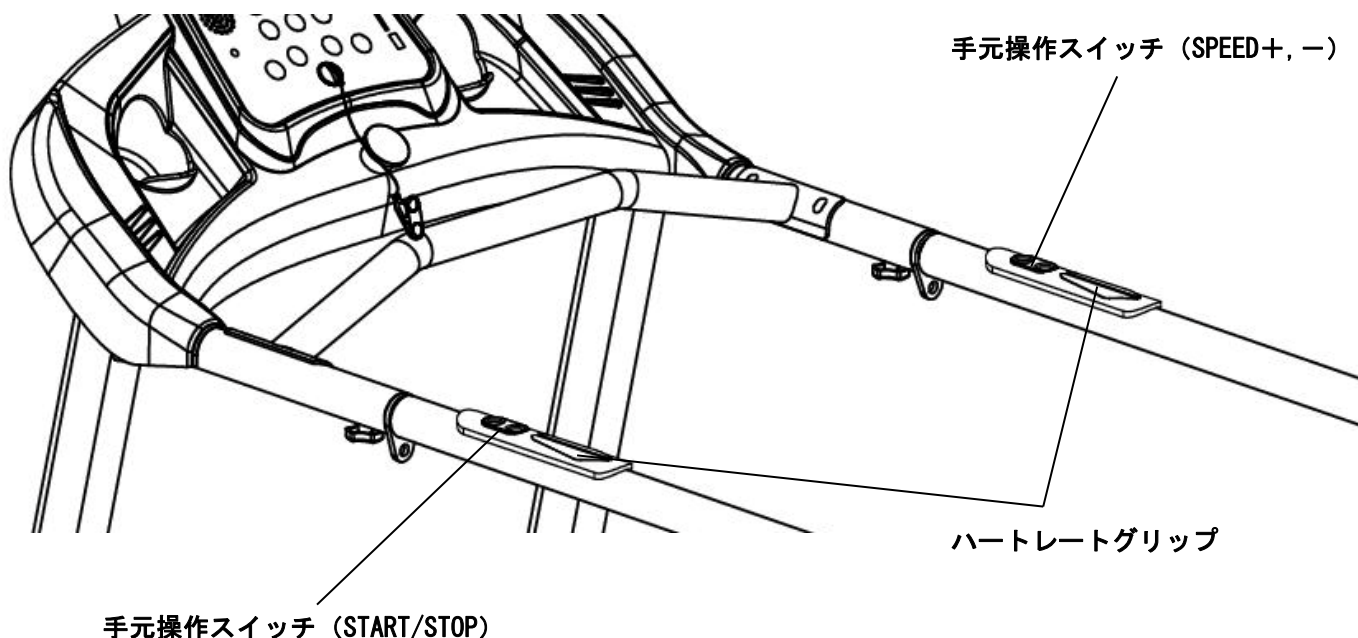
トレッドミルを平行移動させるときは、走行面を前側に倒していただくと2輪移動キャスターがついており簡単に移動することができます。



脈拍測定・手元操作スイッチ機能について

◎脈拍の測り方（ハートレートグリップ）

FT-006Mは、ハートレートグリップを握ることで脈拍数を表示します。



FT-006Mの脈拍数はハートレートグリップを握ることで表示します。

両手でしっかりと握ってください。♥マークが点滅し始め測定状態となり、画面表示されます。

個人差で読み取りにくい方もいらっしゃいますが、表示するまでしっかりと握ってください。

(※手が乾燥していると感知しにくいです)

※脈拍数はあくまでも目安程度にご使用ください。

◎手元操作スイッチ機能

手元操作スイッチによりサイドハンドレールを握りながらの操作が可能です。

左手側が「START/STOP」スイッチです。使用開始と停止が可能です。

右手側が「SPEED」スピード増減「+/-」スイッチです。(1回押すごとに0.1km/hずつ上がります)
スイッチを押している間、上がり続けます。

ご使用方法について

◎操作部の名称



<p>① スタート</p>	<p>運動の開始時に使用します。</p> <p>速度 0.3km/h より始まります。(最低速度 0.3km/h)</p> <p>サイドハンドレール左手側の手元ハンドルスイッチでもスタート可能です。</p>
<p>② スピード (+-)</p> <p>+アップ、-ダウン</p>	<p>走行速度の変更時に使用します。(0.3~6.0km/h、0.1km/h 刻み)</p> <p>サイドハンドレール右手側の手元ハンドルスイッチでも変更可能です。</p>
<p>③ ストップ</p>	<p>運動を止めたい場合に、一度押すと停止します。</p> <p>サイドハンドレール左手側の手元ハンドルスイッチでもストップ可能です。</p>

※安全キーを取付けてください。取付けないとマシンは作動しません。

ご使用方法について

◎表示部の名称

④TIME	: 時間	走行時間が表示されます。	(0:00~99:59 分)
⑤DIS	: 距離	走行距離が表示されます。	(0.00~99.9km/h)
⑥CAL	: カロリー	消費カロリーが表示されます。	(0~999Kcal)
⑦SPEED	: 速度	現在の速度が表示されます。	(0.3~6.0km/h)
⑧PULSE	: 脈拍数	ハートレートグリップを両手で握ると脈拍数が表示されます。	(50~200BPM)

◎ご使用方法

電源スイッチを入れます。

スタートボタンを押すとカウントダウン後、作動を開始致します。

お好みの速度に調整してください。(最高速度: 6.0 km/hまで)

ストップを押すと、徐々にスピードが下がり停止します。

ウォーキングの場合は速度は約 3 km ~ 4 km/h が目安です。

それ以上のウォーキング速度の場合はマシンに十分に慣れられてからご使用いただきますようにお願いします。

ご使用上の注意

本機は、健康維持・増進を目的とした製品である為、心臓病、高血圧、その他病気や障害があり、事前に医師へ相談する必要がある場合は必ず相談してから使用してください。

ご使用前はフットペダル部に足を乗せていてください。

ご使用前に取扱説明書(注意事項)を必ずお読みの上、正しくお使いください。

トレーニングについて

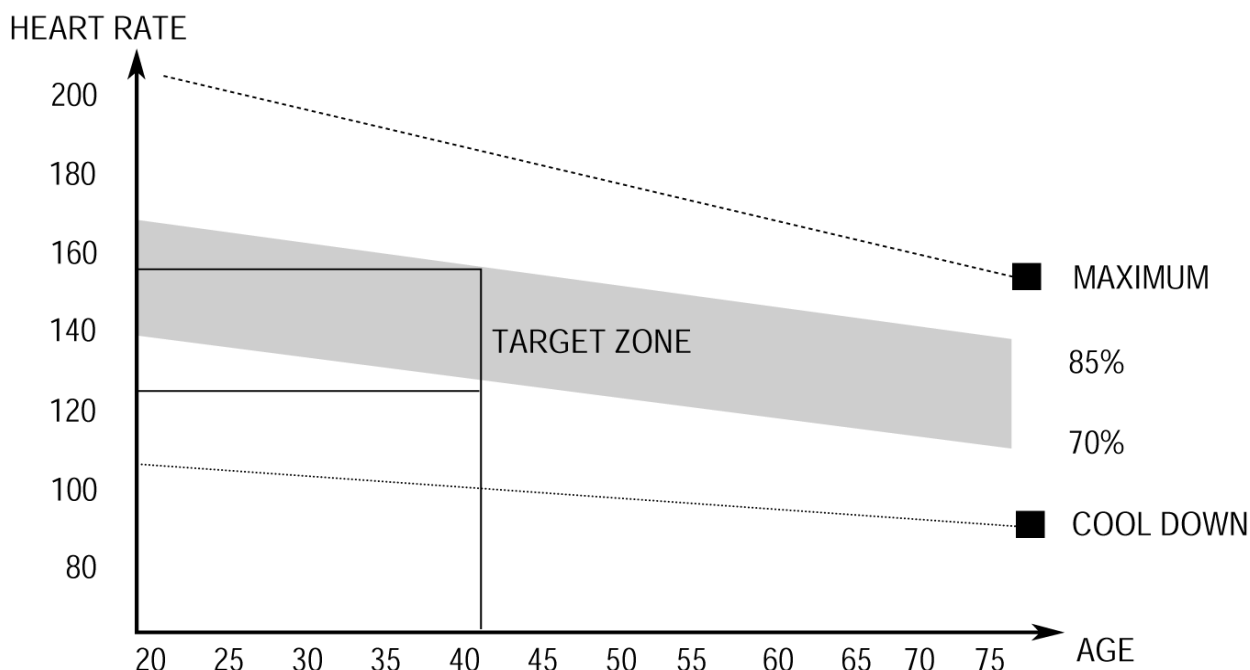
運動の目的・効果を正しく理解して、健康で快適なトレーニングを始めましょう。

運動には無酸素運動（アネロビクス）と有酸素運動（エアロビクス）があります。

無酸素運動は短距離走や重量上げなど瞬発力や短い時間に大きな力が要求される運動で、筋力がアップします。

一方、有酸素運動は自転車・ジョギング・水泳など全身の持久力が主体で、酸素を体内にどんどん取り入れる事で、循環器・呼吸器機能が向上し、体脂肪燃焼など健康の維持に大きな効果があります。

また、15分以上の運動を継続することで、脂肪燃焼が促進されダイエットに効果的です。



上記は一般的なトレーニングの目安です。運動する人の健康状態・体力・運動経験などにより個人差があります。最初は無理のない運動をはじめ少しずつ運動時間を増やし、健康状態やその日の体調に合わせて、無理をせずマイペースで行ってください。

また、運動の前後には十分ウォーミングアップとクールダウン（ストレッチなど）を行い体をほぐしましょう。

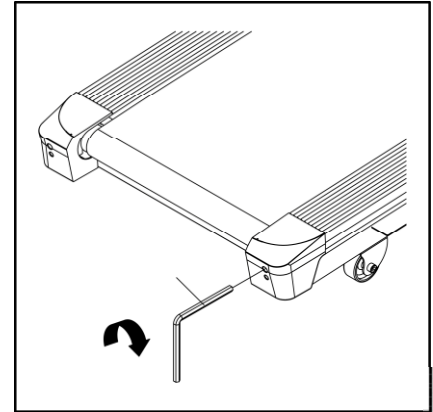
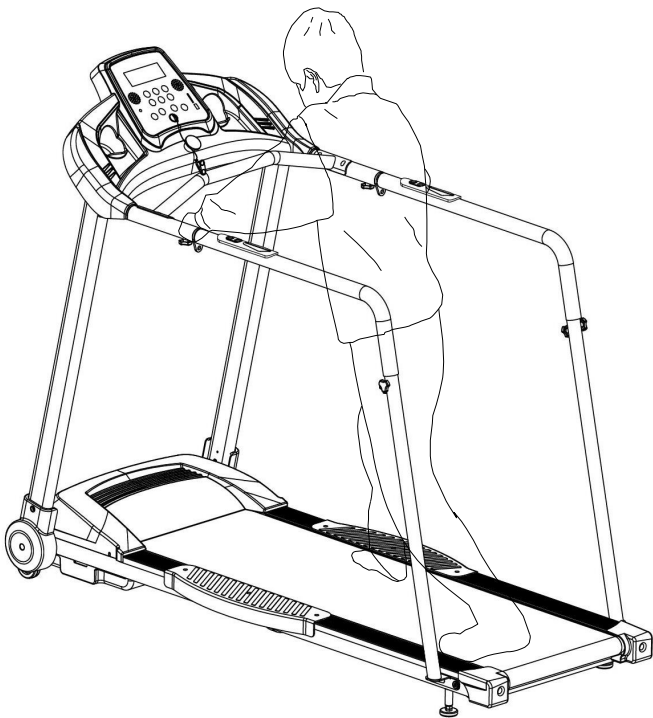
調整方法とお手入れ方法

◎走行ベルトの張り調整

走行ベルトの張りが緩いと走行中に走行ベルトがスリップ（モーターは動くがベルトが止まってしまふ症状）して、大変危険です。

逆に走行ベルトを張りすぎると、前後ローラーのベアリングに無理がかかったり、電子部品やモーターに負担がかかり、故障の原因となります。

下記の方法で適切な張り調整を行ってください。



- ① 付属の工具を走行ベルト調整ボルトに差込み、走行ベルトを一旦緩めます。
- ② 走行速度を3 km/hに設定して、左図のように手すりを持って足を踏ん張り、走行ベルトを止めるようにしてください。
- ③ もし、走行ベルトが止まったら、走行ベルトの張りが弱いので、少し両サイドを同じくらい時計回りに回します。
- ④ ②、③を繰り返し行って、走行ベルトが止まらなくなる状態まで張ります。

※工場での組立時に走行ベルトの張り調整は行っていますが、温度や湿度の変化により走行ベルトが伸縮しますので、その場合は上記の調整を行ってください。

⚠ 危険

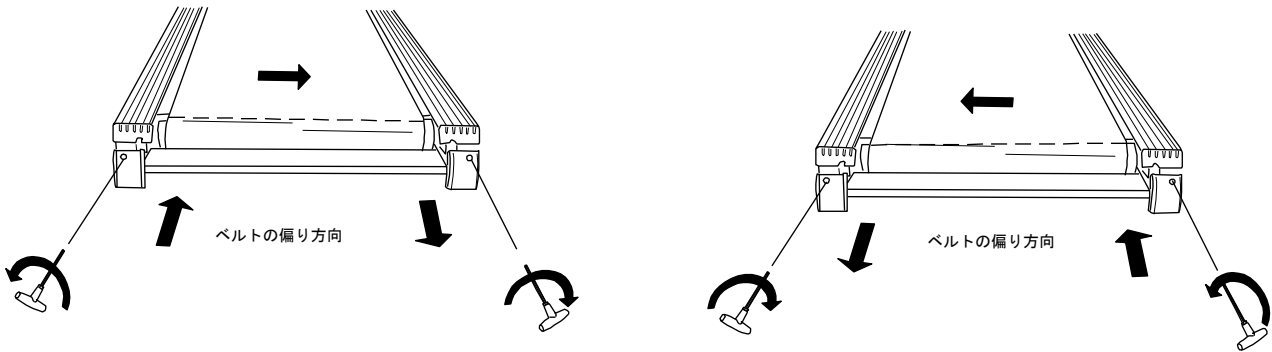
走行ベルトの張りが緩いとモーターが作動しているのに走行ベルトが一瞬止まってしまい、走行ベルトがスリップしてしまいます。使用者が転倒する危険がありますので、適切に張り調整をしてください。

走行ベルトの張りが強すぎると、モーターや前後のローラーに負担がかかり、異音などの発生原因となります。また、走行ベルトの裏面の消耗が早まり、必要以上の負荷がモーターや電子基盤などにかかり、故障の原因となりますので、ご注意ください。

◎走行ベルトの偏り調整

基本的に前ローラーと後ローラーが完全に平行になっている場合は偏りはありません。

もしも、左右いずれかに偏りが発生する場合は下記の要領で調整してください。



走行ベルトが右側に偏る場合

マシンを作動させて、基本的には偏る方向の（この場合は右側）の調整ボルト時計回り方向に90°ずつ回して変化を確認しながら引っ張りを繰り返してください。

逆の方向に偏る場合は回しすぎですので、反時計回しに戻してください。

走行ベルトが左側に偏る場合

マシンを作動させて、左側の調整ボルトを時計回りに回して引っ張りを繰り返します。

逆の方向に偏る場合は回しすぎですので、反時計回しに戻してください。

もうひとつの方法としては走行ベルトの偏る方向と逆のボルトを反時計回しに回して緩めることもできます。

どちらの方法でも構いませんが、走行ベルトの張りすぎには十分に注意ください。

※注）次の場合は走行ベルトの調整をしても偏りの調整はできません。

① 設置している場所が水平ではない場合

床面が水平ではない場合は低い方向へ走行ベルトが偏ります。

水平な場所へ設置してください。

もしくは、ガタつきがある箇所にゴム板等を当ててください。

② お体の不自由な方（特に足の不自由な方など）が使用する場合

両足のけり足の力が均一でなく、どちらかの足の力が強い場合、走行ベルトはいずれかの方向に偏る場合があります。

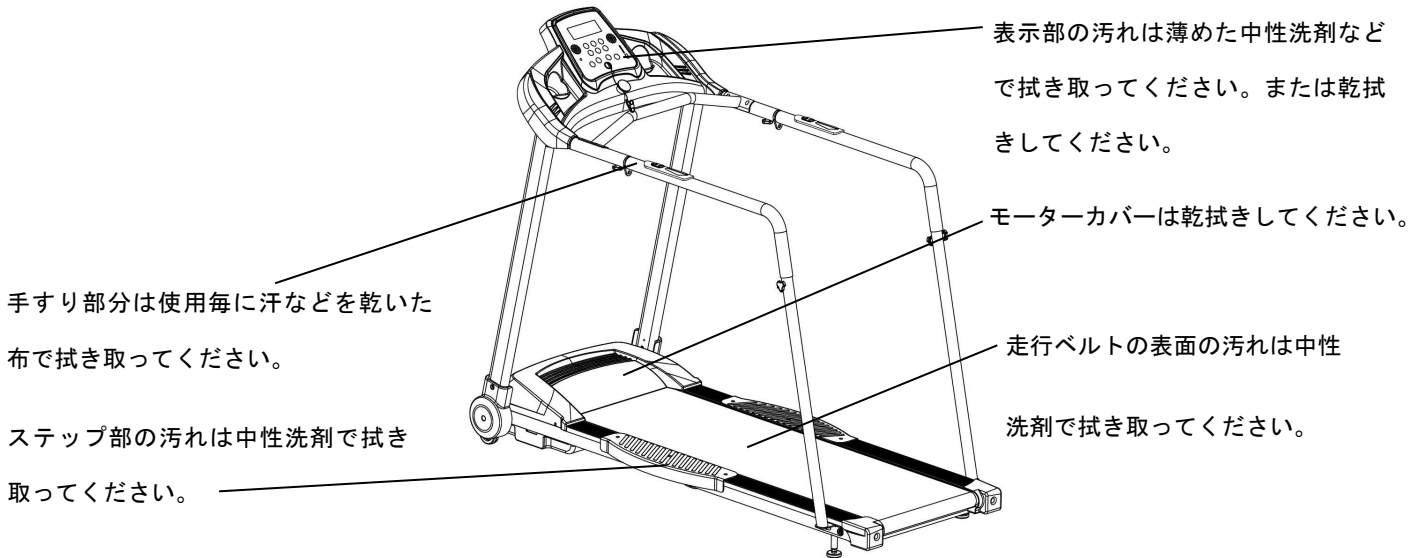
走行ベルトの寿命について

走行ベルトは消耗品の為、定期的な交換が必要です。使用条件・環境によりませんが累計使用時間が約2年を目安に交換してください。走行ベルトの交換を怠りますと、電子基板やモーターなどの故障に繋がりますので、ご注意ください。交換及びメンテナンスのご用命はご購入元の販売店にご相談ください。

各部のお手入れ方法

◎各部のお手入れ方法

マシンを長くお使いになるために次のようなお手入れを実施してください。



◎走行ベルトの裏面と走行板の表面の清掃について

最低1ヶ月に1度は走行ベルトを緩めて、走行ベルトの裏面と走行板の表面を乾いた布などで乾拭きしてください。

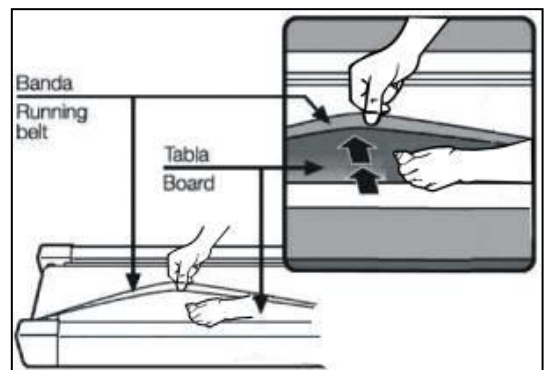
シリコンオイル塗布について

使用するにつれて走行板、走行ベルトが経年劣化及び汚れにより摩擦抵抗が増大し、マシンの性能低下に繋がっていきますので、定期的（3ヶ月毎）なシリコンオイルの塗布が必要となります。

走行ベルトのテンションを緩めて、走行ベルト裏面と走行板の間に付属のCG：シリコンオイルを適量塗布してください。その後、再び走行ベルトのテンション調整を行ってください。

（P. 18 参照）

※シリコンオイルのご購入は、販売店様にご相談ください。



⚠ 注意

中性洗剤以外の洗剤を使用された場合、色の退色や溶解、変形などが生じる場合がありますので、中性洗剤以外のご使用はお止めください。

走行板・走行ベルトの裏面は特殊処理しておりますので、洗剤や潤滑油（CRC など）のご使用はお止めください。

マシンお手入れ前は、必ず電源コンセントを抜いてください。

トラブルシューティング

■本機にご不審な点や、ご使用中に異常が生じた時は、下記内容をご確認下さい。

◎エラーメッセージについて

もしも、トレッドミルが動かなくなった時は表示パネル部にエラーメッセージが表示されます。

一度、電源を切り、3分後に再度電源をONにしてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は下記を参考にお願いします。

画面表示しない		電源基板から表示基板までの間のケーブルが破損、もしくは外れていないか確認してください。 オーバーロードにより保護が掛かっている可能性がありますので、電源スイッチ横のオーバーロードボタンをみて押してください 組立箇所の配線コネクタ箇所の接続を確認してください。
エラー 1 (E01)	信号エラー	上下基板への接続ケーブルをチェックしてください。
エラー 2 (E02)	モーター問題	モーターからの配線を確認してください。配線に問題が無い場合はモーターを交換してください。 蛸足配線、延長ケーブルを繋かず、壁コンセントに直接差し込んでください。 やむを得ず延長ケーブルを使用する場合は、2.0mm ² 以上のケーブルをご使用ください。
エラー 3 (E03)	センサー異常	スタート後、5~8秒後にエラー3が出た場合、速度センサーからの信号に不具合が生じております。速度センサーの接続、速度検知しているマグネットが外れていないか確認してください。(フロントローラーに取り付けてあります) コントローラー、表示部間の配線コネクタの接続を抜き差ししてみてください。 速度センサーとマグネットの状態を確認してください。
エラー 5 (E05)	過電流保護	電源を入れ直してください。復旧しない場合、販売店に連絡してください。 過電流がかかり、システム保護が働きました。電源を入れ直してください。 走行面の滑りが悪くなっている場合、シリコンオイルを入れてください。(P.19) 駆動モーターもしくは電源基板より焦げ臭があった場合は、販売店に連絡してください。

画面が表示されない場合

1. 電源スイッチが入っていることを確認してください。
2. 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。
3. 建物のブレーカーを確認してください。

上記の3点を確認していただいて、それでも表示されない場合は販売店にご相談ください。

電源スイッチは入っているが表示部がバー表示の場合

安全キーが設置されていません。安全キーを設置してください。

電源スイッチは入っているが表示部に何も表示されない場合

販売店にご相談ください。

上記内容を再確認し、それでも異常があるときは、お買い上げ販売店、販売代理店にご相談ください。

また、保証期間経過後の修理もお買い上げ販売店、販売代理店にご相談ください。ご要望により有料で出張修理も行っております。（走行ベルト交換など）

注意

メーカーより依頼されたメンテナンス要員以外の方はモーターカバーを絶対に開けないようにしてください。
(メーカーより指示のある場合を除きます。) もしも許可なくして、故障が発生した場合は保証の対象外となる場合がございます。

その他

◎製品仕様

- ・ カラー フレーム（グレー）、表示部・ハンドレール、（ブルー）
- ・ 材質 スチール鋼管、ABS樹脂
- ・ 走行速度 0.3km/h～6.0km/h（0.1km/h）
- ・ 走行時間 0:00～99:59min
- ・ 走行距離 0.00～99.9km（0.1km ステップ）
- ・ 消費カロリー 0～999 kcal
- ・ 脈拍数 50～200 beats/min
- ・ 停止装置 磁気マグネット式安全キー
- ・ 駆動方式 直流モーター制御方式 DC1.75HP（PEAK3.0HP）
- ・ 電源入力 AC100V/10A 50/60Hz
- ・ 使用者体重制限 100kg 以下

◎本体サイズ

- ・ 本体 長さ 1620×幅 690×高さ 1315mm
重量 46.5kg
- ・ 有効走行面サイズ 長さ 1240×幅 400mm

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名	マルシェ トレッドミル
製品記号	FT-006M
製造番号	

保証期間はお買い上げの日から1年です。（※業務用使用は保証の対象外となります）

お買い上げ日： 年 月 日

お名前

販売店

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き納入後1年間原則として販売店が保証修理いたします。
- 保証修理は補修、または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は出張費を請求する場合がありますので予めご相談ください。
- 保証修理をお受けになる場合には製品保証書の提示が必要となります。
- 保証期間内においても保証書の掲示がない場合は、無償修理の対象になりませんので、保証書は大切に保管してください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理にての修理となります。
 - 誤用、乱用および取扱いの不注意によるもの。
 - 株式会社フジモリが認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
 - 火災、水害、地震、落雷およびその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
 - 部品の通常の磨耗、又は経年劣化。
 - 運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、および外見上の変化。
 - 機能に影響のない感覚的現象（音、振動等）
- その他の保証対象免責事項
 - 運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかわる費用）
 - 取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
 - 保証期間内中でも使用できなかったことによる期間損失等の費用。
- 当社の全責任はすべての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争においては富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

商品及び修理に関するお問い合わせは販売店にご相談ください。



輸入代理店 株式会社フジモリ
〒933-0831 富山県高岡市若富町186
TEL:0766-21-0958
FAX:0766-21-0957
Email:fitness@fujimori-r.com

MARCHER